



桜井（桜井町）、古井（古井町）、浅井（西尾市）の各井戸とともに、由緒ある三河四名井として、昔から紹介されているこの藤井戸跡地は、藤井町東山の茶畑の片隅にあります。井泉は碧海台地の南の端、木戸と藤井の間にできた開析谷の奥に、自然にできた清水の井戸です。

わたしが子どものときには、井戸はもう使われておらず、素掘りでそれほど大きくない穴が開いていて、深さが5〜6メートルはありました。はしごを使って中に入ることがありますが、暗くて、ヒキガエルもたくさんいて、子ども心にとっても怖かった覚えがあります。

そのころ、親からひとつの言い伝えとして「昔、倭姫が賊に追われ、難を逃れてこの井戸に隠れた。しばらくして、中から出てみると、この井の水面に藤の花影が映り、水が紫色に見えた」ことから藤井の地名の由来になったと聞きました。

説はいろいろありますが、いずれも澄んできれいな井の水が、藤の紫色に彩られていた光景が目には浮かびます。

その3

市指定史跡

藤井戸跡



★藤井戸跡地
藤井町東山74-1

今月の案内人
木戸町 都築分二さん